

令和 7 年 5 月 20 日

報道関係各位

福生市立学校在り方検討委員会を設置し 基調講演を開催します

児童・生徒数の減少を見据えた学校施設等における、望むべき教育の実現および課題の解決という観点から、老朽化の進む福生市立学校の改築、再配置、公共施設との複合化等の在り方について検討を行うため、福生市立学校在り方検討委員会を設置します。

第 1 回目の委員会開催にあたり、本委員会の委員でもある神奈川大学の^{おおたけひろかず}大竹弘和教授による基調講演を開催します。

■福生市立学校在り方検討委員会概要

【日時】〈第 1 回〉5 月 26 日（月）午後 3 時～（10 月ごろまで全 6 回開催予定）

【会場】市役所第二棟 4 階第一・第二委員会室

※本委員会は、福生市教育委員会傍聴規則を準用し、傍聴が可能

【委員構成（計 10 人）】学校教育・学校施設に関わる有識者、市立小・中学校校長、PTA 関係者、町会長協議会の代表者、福生市立学校運営協議会委員、市職員

■基調講演概要

【日時】5 月 26 日（月）午後 3 時 30 分～（委員会の進行により前後する場合あり）

【会場】市役所第二棟 4 階第一・第二委員会室

【内容】『コミュニティ拠点の学校とは！～大きな負担や責任を「教育現場」から「地域や民間」に移す作業を行い、学校施設を地域の共有資源として有効活用すれば解決できることは山ほどある～』

【講師】大竹弘和氏（神奈川大学人間科学部教授、福生市立学校在り方検討委員会委員）

〈プロフィール〉

筑波大学大学院修士課程修了。『学校という「ハコモノ」が日本を救う！（白秋社・2022 年）』など、公共施設の管理運営に関する多数の執筆や講演、多くの自治体へ政策アドバイスをを行っているほか、スポーツ庁においても公共施設ストック適正化ガイドライン策定委員を務める。また総合システム研究所株式会社の代表として企業や公益法人等へのコンサルティング、自治体へのアドバイス等を多数行っている。



【問合せ】教育総務課 Tel042-551-1930